

官報

號外

大正八年二月七日 金曜日

印刷局

第四十二回衆議院議事速記録第十一號

大正八年二月六日(木曜日)午後一時九分開議

議事日程 第十號 大正八年二月六日

午後一時開議

第一 大麥、小麥及小麥粉ノ輸入税減免ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第六 大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 會計士法案(近藤達見君外一名提出) 第一讀會

第八 朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案(牧山耕藏君外五名提出)

第九 葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案(高田松平君外一名提出)

第十 北鮮、裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案(上野安太郎君外九名提出)

第十一 玄米食獎勵ニ關スル建議案(荒川五郎君外四名提出)

第十二 織物業組合及葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案(小林源藏君外十三名提出)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ命ジマス

〔原田書記官朗讀〕

一昨五日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大麥、小麥及小麥粉ノ輸入税減免ニ關スル法律案

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案

一昨四日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

林原制限地開墾ニ關スル質問主意書

提出者 森本一郎君

青年指導ニ關スル質問主意書

提出者 田中 萬逸君

國民思想ノ善導ニ關スル質問主意書

提出者 田中 善立君

一昨四日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大正七年法律第三十七號中改正法律案

提出者 漆 昌巖君 牧山 耕藏君

一昨五日議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

未成年者飲酒取締法案

提出者 根本 正君 高見 之通君

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

一昨五日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

日肥鐵道建設ニ關スル建議案委員會

委員長 原田 十衛君 理事 長峰 與一君

輸出羽二重精練業法中改正法律案委員會

委員長 松井文太郎君 理事 西村 正則君

大正七年法律第二十四號中改正法律案委員會

委員長 中川幸太郎君 理事 八田 宗吉君

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案委員會

委員長 戶狩權之助君 理事 近藤 達見君

一昨五日作業會計法中改正法律案外六件委員會生田

和平君、南澤宇忠治君辭任ニ付其補闕トシテ隅田豐

吉君、河上哲太郎君、鐵道敷設法中改正法律案外

一件委員三土忠造君、寺田省齋君、柳瀬軍之佐君

辭任ニ付其補闕トシテ林毅陸君、東武君、櫻井庄平

君ヲ、帝國大學特別會計法中改正法律案外二件委

員諏訪部庄左衛門君辭任ニ付其補闕トシテ菅野傳

右衛門君ヲ、大正七年法律第二十四號中改正法律

案委員毛里保太郎君辭任ニ付其補闕トシテ南里琢

文五郎君辭任ニ付其補闕トシテ八田宗吉君ヲ執レ

モ議長ニ於テ選定セリ

○議長(大岡育造君) 日程第一及第三ハ、政府ヨリ緊

急事件トシテ要求ガアリマシタ、仍テ時日ヲ繰上ゲテ本日

ノ日程ニ載セマスシタ、此段御報告申シマス、是ヨリ會議ヲ

開キマス、日程第一、大麥、小麥及小麥粉ノ輸入税減免

ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第一 大麥、小麥及小麥粉ノ輸入税減免ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

大麥、小麥及小麥粉ノ輸入税減免ニ關スル法律案

政府ハ當分ノ內勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ大麥、小麥及

小麥粉ノ輸入税ヲ低減又ハ免除スルコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員松本重威君登壇〕

○政府委員(松本重威君) 唯今日程ニ上リマシタ法律

案ハ、食料ノ需要供給ヲ調節セシメマス爲メニ、大麥、小

麥、小麥粉ノ輸入税ヲ低減シ、或ハ免除シテ、輸入ノ便利

ヲ圖ラントスル趣旨デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛

アラント希望シマス

○議長(大岡育造君) 質問ノ通告ガアリマス、順序ニ依ッ

テ許シマス、武藤金吉君

○江藤哲藏君 是ヨリ鐵道敷設法ノ委員會ヲ開キタウゴ

ザイマス

○議長(大岡育造君) 許可致シマス

〔武藤金吉君登壇〕

〔拍手起ル〕

○武藤金吉君 大麥、小麥、小麥粉ノ關稅ノ低減及免

除ノ法律案ニ付キマシテ、二三ノ疑ヲ質シテ置キタイト思

フノデアリマス、第一ニ當分ノ內期間ヲ定メ、勅令ヲ以テ之

ヲ低減免除スルト云フ、其當分ノ內ト云フ期間ハ、何月何

日マデアリマス、ソレヲ承リタイ、第二ニハ其關稅定率ノ

中デ、第二類ニ屬シテ居リマスル穀物、穀粉、澱粉ノ種類

デアリマス、米及初ハ既ニ關稅ヲ撤廢サレテアリマス、此

度大麥、小麥及小麥粉ヲ免除シ、若クハ低減スルト云フコ

トデアリマス、此低減ノ範圍ハドウニ云フコトニナルノデアリ

マス、關稅定率ヲ見マスレバ、大麥ハ百斤ニ付テ四十二

錢、小麥ハ六十五錢、小麥粉ハ一圓六十五錢ニナラデ居リ

マス、此中デ小麥ト小麥粉ノ差ハ、之ヲ割合ニ致シマスレ

バ、從價約一割ト二割五分ニ當テ居リマス、此差ハ洵ニ

大切ナ差デアリマシテ、此差ハドウ云フ標準ヲ以テ低減若

クハ免除セラレタルモノデアリマス、明ニ承テ置キタイト

思ヒマス、更ニ大麥、小麥ノ輸入ノ關稅ヲ低減免除スルニ

當リマシテ、此大麥ヲ米ノ不足ノ場合ニ、食糧ト致シマス

ニ付キマシテハ、隨テ馬糧ニ他ノ物ヲ用キナケレバナラス、

既ニ陸軍省ニ於キマシテハ、馬糧ニ高粱ヲ用キテ居ル、又玉蜀黍モ用キテ居ルサウデアリマス、是等ノ關稅ニ付キマシテハ、政府ハ研究ヲ爲サレタノデアリマス、研究ナサレタモ、是等ノ關稅ハ、低減免除ノ必要ナシト考ヘラレタノデアリマス、承テ置キタイ、更ニ小麥ト同種類ノ物デアリマシテ、澱粉若クハ穀粉ノ中デ「オートミール」ノ如キ、若クハ「コンミール」ノ如キ、又ハ「タピオカ」、「マニオカ」、是等ノ穀粉、澱粉ニ對シテ、其儘ニシテ置ク御考デアリマス、是等ハ雜穀ノ輸入税ヲ撤廢シ、低減スルト云フコトニ付キマシテハ、其均衡ヲ得、又其必要ニ於テ最モ攻究ヲ要スル點デアリマス、唯今政府委員ノ御説明ニ於テハ、一向其要領ヲ得マセヌカラ、願クハ大切ナ問題デアリマシテ、殊ニ食糧問題ニ關聯シテ、現時ニ於キマシテハ釜蓋キ問題トナシテ居リマス、是等ノ御説明ハ能ク議場ニ徹底スルヤウニ、明細ニ御辯明アラント望ム次第デアリマス

〔拍手起ル〕

○田中隆三君 開墾助成法ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ御許ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 許可スルコトニ致シマス

〔國務大臣山本達雄君登壇〕

〔拍手起ル〕

○國務大臣(山本達雄君) 此案ハ御承知ノ如ク大藏省ガ主トナシテ居ルノゴザイマス、大臣病氣ノ爲メニ缺席ヲ致シテ居リマス、故ニ、農商務省ニ大關係ヲ有スル事デアリマス、故ニ、私ヨリ説明ヲ申上ゲマス、第一ノ大麥、小麥及小麥粉ノ撤廢若クハ輕減ニ付キマシテハ、時デゴザイマス、當分ノ内期間ヲ定メ勅令ヲ以テ云々トアリマス、ガ、昨年ノ十月ノ末ニ於キマシテ、米及粗ニ付キマシテ、緊急勅令ヲ以テ撤廢ヲ致シマシタガ、其期間ハ來月ノ十月ノ末ニナシテ居リマス、ソレデ同様ニ今日米ノ供給ヲ潤澤ナラシムルト云フ爲メニ元ト起タモノデ、ソレニ隨伴致シマス、ル大麥、小麥、小麥粉ノ減稅若クハ撤廢ヲスルト云フ案デゴザイマス、故ニ、矢張其主體トナシテ居リマス、米ト同様、本年ノ十月ノ末ニ新米ノ出來ル頃マデニ、之ヲ撤廢若クハ減稅ヲシタイト云フ精神デゴザイマス、ソレカラ其小麥及小麥粉ノ此減稅及撤廢ノ割合デゴザイマス、政府ニ於キマシテハ、小麥ニ對シマシテ、百斤七十七錢ノモノハ全廢ヲスルト云フ積リデゴザイマス、ソレカラ小麥粉ノ百斤ニ付テ一圓八十七錢ニナシタト記憶シテ居リマス、是ハ小麥ト凡ソ比例ノ取レル程度ニ於キマシテ、減稅ヲシタイト云フ積リデゴザイマス、ソレカラ陸軍省ニ於テ大麥ニ代フ

ルノ高粱ヲ以テスルト云フコトデゴザイマシテ、ソレニ付テハ高粱其他雜穀ニ付テマデ其儘カト云フコトデゴザイマス、政府ノ主ト致シマス、所ハ、成程此間接ニハ食糧ヲ助ケル物ハ、雜穀ノ中ニ於テマダ外ニ粟ノ如キ、又高粱ノ如キ物ニ於キマシテモ、又豆ノ如キ物ニ於キマシテモアリマス、成ベク直接ニ食糧トナシテ、米ノ不足ヲ助ケルト云フ物ニ局限ヲシテ行キマシタラバ、宜シカラウト云フ積リデゴザイマシテ、其外ノ物ニ於キマシテモ、成程間接ニハ食糧トナルベキ物モアリマス、其輸入ノ數ニ於キマシテモ、餘リ大キナコトガ見出シマセヌ、故ニ先ツ此位ナ程度ニ於テヤタナラバ適當デアラウト云フ考ニ於テ、今ノ三種類ニ定メマシタル次第デゴザイマス、御答ヲ申上ゲマス(拍手起ル)

○武藏金吉君 尙ホ一ツ承リタイノデアリマス、粟、高粱、玉蜀黍、其他ノ澱粉穀粉ニ付キマシテハソレデ宜シト致シマシテ、此麥類ハドウナサル御考デアリマス、麥類ハ小麥ヲ小麥粉ニスル間ノモノデアリマス、麥類ハハ關稅ノ中デ種類ガ別ノ所ニアリマス、百斤ニ付テ二十錢課稅セラレテ居リマス、麥類ハソレデハ抛テ置クト云フ御意思デアリマス、是ハ小麥ト小麥粉トニ關係ヲ持テ居ルモノデアリマス、念ノ爲メニ伺テ置キマス

○議長(大岡育造君) 山本農商務大臣

○國務大臣(山本達雄君) 麥類ハ主ニ馬糧トナルベキデアリマシテ、成程相當ノ輸入ハアリマス、先ツ此所マデハバヌデモ宜カラウト云フ積リデ、之ヲ除キマシタル次第デアリマス

○議長(大岡育造君) 川崎克君

〔川崎克君登壇〕

〔拍手起ル〕

○川崎克君 唯今御提出ニナリマシタ大麥、小麥小麥粉ノ輸入税低減若クハ免除ニ關スル法律案ニ就テ、二三質疑ヲ致シテ見タイト思フノデアリマス、第一ニ御尋致シテ見タイト思ヒマス、ハ、此今度ノ減稅ノ種類ヲ單ニ大麥、小麥、小麥粉ニ限ラレタル理由ハ、ドウ云フ譯デアルカ、唯今ノ農商務大臣ノ御説明ニ依リマス、他ノ物ハ比較的輸入ガ少イカラ、其額ニ於テモ——金額ニ於テモ、數量ニ於テモ、少イカラト云フ理由ノヤウニ承ッタノデアリマス、大豆ノ如キハ、其金額ニ於テモ、其數量ニ於テモ、大麥、小麥ノ如キ物ニ比シテ、數量、金額、共ニ多イノデアリマス、ノ、之ヲ御除キニナシタ理由ハ、單ニ數量ノ高以外ニ在ルノデアルカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、單ニ大麥ト云ハズ、斯ル食料品ノ補充ヲ爲ス問題ハ、一般ノ普遍的ニ御造リニナシタ方宜クハナイカト思フノデアリマス、單ニ是ダケニ限ラレタル理由ヲ、先程御説明ニナシタダケハ満足

ガ出來ヌノデアリマス、更ニ承リタイノデアリマス、第二ニ御尋ヲ致シタイノハ、小麥粉ノ減稅ヲセラルベキ程度デアリマス、是ハ小麥粉ハ小麥ニ比シテ、從來ノ割合ニ依ルト云フコトノ御説明ヲ今承ッタノデアリマス、從來ノ割合ト申シマス、明治三十二年以來、小麥ノ小麥粉ニ對スル割合ハ小麥ニ對シテ小麥粉ハ約倍額ノ税金ニナシテ居ルノデアリマス、唯、三十九年ニ於テ、小麥ノ關稅定率約一割五分ニ對シテ、小麥粉ハ二割五分ニナシテ居リマス、近來ニナシテ此小麥ノ一割五分ニ對シテ、小麥粉ハ三割ニナシテ居リマス、此定率法ノ下チラヲ御採リニナル御考デアルカ、之ヲハッキリ伺テ置キタイノデアリマス、之ヲ伺ヒマス、理由ハ申スマデモナク、小麥ハ小麥トシテ需要者ノ需要ヲ満足セシムルコトハ出來ナイノデアラデ、小麥粉トナシテ現ル問題デアリマス、故ニ、特ニ此點ヲハッキリ伺ヒタイノデアリマス、第三ニ御同致シタイト思ヒマス、今度ノ大麥小麥特ニ小麥粉ニ付テ減稅ヲ爲サレタ御趣意ハ、生産地デアラ、若クハ支那ノ小麥、小麥粉ヲ輸入セラレル御方針デアラト思ハル、ノデスガ、特ニ濠洲ハ千九百十五年以來、英吉利デ輸出ヲ禁ジマシテ以來、千九百十八年マデノ間ニ、約三千三百萬石ノ小麥ヲ貯藏シテ居ルト云フコトデアリ、毎年二千萬石足ラズノ小麥ヲ產出スルト云フコトデアリマス、濠洲ニハ澤山ナ小麥ノアルコトハ明カデアル、又支那ノ山東省ニ於テモ、年々一千万石内外ノ小麥ヲ出シテ居リマス、カラ、之ヲ日トシテ是ヨリ輸入スルノ目的ノ爲メニ、此法律案ヲ出サレタ御趣意ト諒解スルデアリマス、單ニ關稅ノ低減免除ノミニシテ、此小麥及小麥粉ノ内地ニ運ビマスニ付テ、運賃ノ上ニ便利ヲ得ベキ船舶管理令ヲ御適用ニナルノ御考ガアルヤ否、若シオアリニナルトスラバ、ドレダケノ程度ニ於テオヤリニナルノデアルカ、ソレヲ承リタイ、若シオヤリニナルトスラバ、何等カ他ニ補給ノ方法ヲ御考ニナシテ居ラル、ヤ否、是モ併セテ承リタイノデアリマス、最後ニ承テ置キタイノハ、此法令ノ效力ヲシテ有效ナラシムル點ニ於テモ、斯ノ如キ意味ニ於テ御提出ニナシタ趣意カラ考ヘテモ、免ニ角ニ依ッテ原料ハ豊富ニナリ、製粉ハ潤澤ニナルト云フコトノ道行ダケハ來ルノデアリマス、其結果トシテ、果シテ普通ノ純理カラ行ケバ、潤澤ニ供給セラルベ、伴フテ値段ガ安クナルト云フコトハ當然デアリマス、レドモ、特ニ製粉ニ付テハ必ズシモサウ限定ノ出來ナイ事實ガ、今マデ澤山アルノデアリマス、是ハ何ガ爲メニ斯ノ如キ事ガアルカト云フコトハ、主トシテ公定市場ノ今日マデ無キ結果デナイカト思フノデアリマス、公定市場ガ出來テ、取引ノ公定安全ガ保ラレタ

ナラバ、今マデノ例ノヤウナ不正ナル製粉業者ヲシテ、恣ニ値
段ノ上下ヲ爲サシメズ、仲介業者ヲシテ假需要假供給ヲ恣
ニナサシメズ、眞ニ公正ナル取引ガ行ハレナクハバナラヌノデ
アリマス。レドモ、從來ノ例ニ依レバ明ニ昨年ノ二月ノ如
キハ、寺内内閣ノ下ニ行ハレタ所ノ小麥ノ値段ノ如キハ、某
商店ノ買占行爲ノ爲メニ、一昨年ノ九月ニ三圓五六十錢
ノ小麥ガ昨年ノ二月ハ六圓以上ニナタト云フガ如キ、僅ニ
半年ニシテ八割内外ノ高低相場ヲ見タト云フコトハ、品ノ
不足ノ爲メニ生ジタニ非ズシテ、其間ニ買占行爲ヲ爲ス者
アリ、公正ナル取引市場ノ無カタクト云フコトハ、大ナル原
因デアルト思フ。デアリマス、當ニ内地間ノ取引ダケニ止マ
ラスシテ、先物ノ取引ヲ爲ス必要ノ上ニ於テモ、外國トノ
取引ヲ結ブ上ニ於テモ、公正ナル取引市場ガ有タナラバ
先物ノ見据ガ著キマスカラ、外國商人モ安心シテ取引ヲ締
結スルコトガ出來ルノデアッテ、此法令ノ精神ヲシテ實行力
アラシムルモノトスルニハ、ドウシテモ公設市場ヲ必要トシナ
ケレバナラヌ、之ヲ附帶案トシナケレバナラヌト、斯様ニ思フノ
デアリマス、先程カラノ御説明ニ於テハ、此點ニ論及セラレ
ナカッタデアリマス。如何ナル御考デアアルカ、ソレヲ承リタ
イ、單ニ此儘ニシテ減免稅ヲ爲サレテモ、取引ノ公正ヲ保タ
ザル以上ハ龍ヲ畫イテ眼ヲ入レザル嫌ヲ免レヌ、願クハ此點
ニ付テ當局大臣ノ懇切ナル御答辯ヲ要求スル次第デアリ
マス

○議長(大岡育造君) 山本農商務大臣

(國務大臣山本達雄君登壇)

○國務大臣(山本達雄君) 御答致シマス、此輸入撤廢又
ハ減稅ニ付キマシテ、大麥小麥粉ニ限ッテ、ソレヨリ尙ホ餘
計ニ輸入ノアル大豆ノ如キ物ヲ除イタノハ、何等ノ理由デ
アルカト云フ事デゴザイマス。是ハ唯、輸入ガ少ナイ爲メニ
除イタ、輸入ガ多イガ爲メニ之レヲハレタト限定スルヨリモ、
寧ろ直接ニ米ノ不足ヲ補フト云フコトニ付テノ、其食糧ニ
近イモノニ於テ、成ダケ限定シタイト云フノデ、此三種ニ限
リマシタル次第デアリマス、成程大豆ノ如キ物ハ、滿洲ヨリ
多額ノ輸入ガアリマス。其輸入ナルモノハ、多クハ或ハ
製油、又糟トシテ肥料ノ如キモノニ於テ、多ク輸入スルノデ
アリマシテ、其方ノモノハ故ラ此所デ關稅ヲ動カサナクとも、
相當ニ入ルモノデアルト云フ見込デゴザイマス、ソレデ其大
豆ヲ供給スル場所ノ違ト、サウシテ今申ス如キ事デアリマ
ス、故ニ故ラニ關稅ヲ動カサナクテ宜カラウト云フ爲メ
ニ限リマシタルデゴザイマス、ソレカラ其割合ニ付キマシテ
ゴザイマスガ、武藤君ノ御質問ニ答ヘマシタ如ク、小麥ニ於
テハ現行ニ於テ百斤七十七錢ニナッテ居リマス、小麥粉ニ
於キマシテハ、百斤ニ付テ一圓八十五錢ニナッテ居リマス、

元ト此差等ヲ斯ク著ケマシタト云フコトノ源ニ遡リマス、
成ベク製粉業ノ如キモノ、發達ヲ圖リタイト云フ爲メニ、斯
ク差等ガアルノデゴザイマス、ソレデアリマス。故ニ、今日此
二ツノ物ヲ廢減稅ヲ爲スニ付テモ、矢張小麥ノ關稅ヲ撤廢
スル、ソレト同時ニ此小麥ノ粉ニ於テモ撤廢ハセズシテ、凡
ソ小麥ノ其撤廢ニ比例シテ、サウシテ小麥ノ粉ノ製造ニ害
ヲ爲サナイ程度ニ於テヤリタイト云フ積リデアリマス、ソレカ
ラ此小麥ヲ此所デ撤廢致シマスレバ、今日ハ支那ニ於キ、
又殊ニ遼洲アタリハ、段々小麥ガ大分剩餘ガアルト云フヤ
ウナコトモ耳ニ致シテ居リマス。故ニ、斯ク致シタナラバ、
小麥ノ粉ガ相當ニ入ッテ來ルデアラウ、而シテ今日ノ日本ノ
製粉業者ハ、御承知ノ如ク隨分餘計アリマシテ、總テノ機
械ヲ此所デ運轉シマスレバ、二千万斤程モ製造シ得ル力ガ
アルノデアリマス。今日ハドナラカト云フト、ソレガ五割六
割位程ノ運轉デアッテ、十分ニ此機械ノ運轉ヲ爲サナイト
云フ如キ狀態デアリマス。故ニ、斯ク致シタナラバ、其方
ニ付テモ十分ナル製造ガ出來得ルコトデアラウト考ヘル次
第デゴザイマス、而シテ又小麥ノ粉ハ、内ニ於テ斯ク出來ル
ガ、今度ハ外ニ向ッテハドウカト云ヒマス。御承知ノ如ク
省令ニ於テ米、初、小麥粉ハ輸出ノ制限ヲシテ居リマシテ、
一、政府ニ向ッテ届ケナケレバ、之ヲ外國ニ輸出スルコトガ
出來ナイコトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ小麥
ガ入ッテ參リマスレバ、製粉ノ方ガ段々盛ニナル、盛ニナ
ルト同時ニ外ニ出ルコトハ、大ニ效力ガアラウト思フノデアリ
マス、而シテ昨年頃此製粉ニ於キマシテ非常ナル動搖ガアッ
テ、其動搖ノアツタコトハ、公定市場ガ無イ爲メデアラウト云フ
コトデ、ソレガ爲メニハ如何ナル考カト申スノデゴザイマス、
一應御尤御質問デアリマス。之ニ付キマシテハ、強チニ
公定相場ガ茲ニ市場ノ無イ爲メニ、斯ノ如クナッタハ、總テ
ノモノヲ之ニ歸スルト云フコトハ如何デアラウカト思ヒマス
ル、併シソレハ免ニ角今日ハ今申ス如ク、外國ニ出ル方ハ制
限ヲシテ居ルノデゴザイマス。故ニ、斯ク致シマシタナラバ
餘リ酷キ、外國ニ出ルコトト同ジヤウナル事ハ、必ズ起キマ
イト思ッテ居リマス。此小麥ノ市場ヲ立テマスルコトニ付キ
マシテハ、外カラモ其相談モアルヤウナコトデゴザイマス。カ
ラシテ、今日ハ考慮ノ中ニ置イテ居ル次第デアリマス、此段……

○川崎克君 先程御尋致シマシタ中ノ、第三項ノ船舶管
理令ノ事ニ付テ、御撤去ニナルカ否ヤト云フコトノ御答辯
ガ無カッタヤデアリマス

○國務大臣(山本達雄君) 是ハ關稅ヲ撤廢若クハ減免
ヲ致シマシタナラバ、故ラ二船ニ於テ運賃ヲ低減シナクテモ

宜カラウト云フ考デゴザイマス、ソレ故ニ其方ハ別段管理令
ヲ以テ低減スル考ハアリマセヌ

○議長(大岡育造君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託
スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 本案ハ第二委員付託ニナリマシタ、大正七
年勅令第三百七十三號承諾ヲ求ムル件外一件ノ委員ニ、
併セテ付託セラレコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
ヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ動議ノ如ク決シ
マシタ。日程第三朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改
正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス。古賀政府委員

第三 朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正
法律案(政府提出) 第一讀會

朝鮮醫院及濟生院特別會計法中改正法律案
朝鮮醫院及濟生院特別會計法中左ノ通改正ス
第二條中「四十五萬圓」ヲ「七十一萬圓」ニ改ム
附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員法學博士古賀康造君登壇〕
〔拍手スル者アリ〕

○政府委員(法學博士古賀康造君) 本案ハ大藏省所管
デアリマス。クレドモ、擔當ノ政府委員病氣缺席デアリマス、
私ヨリ一應本案ノ説明ヲ致シマス、朝鮮醫院並ニ濟生院
ノ設立以來、大分患者ガ増加シマシテ、延人員ガ醫院ニ於
テモ百万人ニ増加シ、又濟生院ニ於テモ六七十万人ノ増
加デアリマス、殊ニ近年物價ノ騰貴ニ伴ヒマシテ、非常ニ經
費ヲ要スル次第ニナッテ、到底今日マデノ四十五萬圓ノ經
費ヲ以テ、此維持ガ出來ナクナリマシタカラ、已ムヲ得ズ今
回二十六萬圓ノ増加ヲ要求シタ次第デアリマス、何卒御
審議ノ上御協賛アラントヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラ
レコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセ
ヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ議長指名九名

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ議長指名九名

委員ニ付託スルニ決シマシタ。日程第五、第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案、第一讀會ノ續キテ議題ト致シマス。委員長根本正君

第五 第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)(確定議)

(根本正君登壇)

(拍手スル者アリ)

○根本正君 是ヨリ第一回國勢調査施行ニ要スル地方經費國庫支辨ニ關スル法律案ノ委員會ノ調査及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ都合三回開キマシテ、政府委員モ其都度出席セラレマシテ、十分ナル審査ヲ經マシタガ、此法律案ハ帝國ニ於キマシテ初メテノ事業デアリマシテ、即チ諸君ノ御手許ニ在ル案ノ通り、此費用ハ國庫デ持ツベキモノト、地方費デ持ツベキモノト、雙方デ持ツト云フコトガ、明治三十五年法律第四十九號ヲ以テ決定サレテ居ル所ノ問題デアリマス、而シテ國庫デ持ツベキ所ノ二百五十萬圓ト云フモノハ、既ニ前議會ニ於テ決定サレマシタ、此度ノ結果ハ地方デ持ツベキ所ノ經費ヲ國庫デ持ツヤウニスル、即チ百五十萬五千四百八十八圓ヲ限リテ之ヲ道府縣ニ交付ス、斯ウ云フ法案デアリマス、是ハ十分調査ヲ致シマシテ、此第二條ニ在リマス、即チ地方費ノ事ニ付テハ、ドウ云フ事ヲ第一條カト云フナラバ、先ツ以テ此人口ニ關スル所ノ八項目ヲ主トシテ調べルト云フコトデアリマス、是ハ第一ニ氏名、第二ニ世帯ニ於ケル地位、第三ニ男女ノ別、第四ニ出生ノ年月日、五ニ配偶ノ關係、六ニ職業及職業上ノ地位、七ニ出生ノ地位、八ニ民籍又ハ國籍別、斯ウ云フ項目ヲ調べルトニナツテ居リマス、此國勢調査ノ經費ヲ先ツ此度ハ初メテノ事デアルカラシテ、成ベク地方費ヲ輕減スル爲メニ、此所ニ限リテ國庫カラ支辨スルコトデアリマス、是ニ付テ種々質問ヲ致シマシテ、此度限リデアルカ、又是カラモ矢張斯ウ云フヤウニナルカト云フコトモ質問ガアリマシタガ、免ニ角第一回ノ調査ヲ結了シマシテ、其模様ニ依テ後來ノ事ヲ定メルト云フコトデアリマシタ、故ニ此調査ヲスルト云フコトニ付テハ、三十五年法律第四十九號ノ法文ニ依テ居ルノデアリマス、此市町村ニ要スル經費ノ外ニ、府縣或ハ郡杯ニ要スル金モ要ルト云フコトデアリ、此法案ノ見マスト云フト、市町村ト云フコトニナツテ居リマス、矢張此度ノ百五十五萬何千圓ト云フ中ニハ、市町村ノミナラズ、縣ニ於テモ、或ハ郡役所ニ於テモ、之ガ爲メニ費スル所ノ費用ハ、自ラ之ニ入ッテ居ルト云フ答辯ニナツテ居ルノデアリマス、即チ此地方ニ關係スル所ノ費用ト云フモノハ、全部此費用ニ

入ッテ居ッテ、地方費トシテハ更ニ徵收スルコトヲシナイ、此調査ノ仕方ニ於テ、單ニ此人口ノ調査シタノデハ、甚ダ簡ニシテ不十分デアアルマイカト云フ質問モゴザイマシタ、亞米利加ノ如キハ殖産興業ハ無論ノ事、總テ衛生經濟或ハ農業——農業杯ニ付キマシテハ、地主或ハ小作人、或ハ自作人ト云フヤウナ方法ガ出來テ居ッテ、先般二百五十萬ノ兵ヲ出スニ付テモ、僅ニ數月間ニ總テノ準備ガ整フテ居ルト云フヤウナ事ハ、實ニ亞米利加ノ國ニ於テハ、他ノ英吉利ヨリモ、佛蘭西ヨリモ優ッテ、此國勢調査會ト云フモノガ能ク出來テ居ルノデアリマス、隨テ其費用モ莫大ニ費シマシテ、亞米利加ニ於キマシテハ、既ニ百數十年前ヨリ始マツテ、三十年前ニハ一箇年ノ費用ガ八百萬圓デアリマシタガ、過グル——費用ノ如キハ三千二百萬圓ト云フ大金ヲ、之ガ爲メニ費シテ居ルノデアリマス、我國ニ於キマシテハ、四百萬圓ト云フコトデアアル、他ノ國ハ皆ナリ此調査ト云フモノガ、亞米利加ノヤウニ屈イテ居ラヌ故ニ、總テノ事ガ亞米利加ノヤウニ經濟ノ途ニ於テ行居カナイト云フコトハ、國勢調査ガ如何ニ國家ニ對シテ、效力ガアルモノデアルカト云フコトガ能ク分ル事デアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、後來ニ於キマシテハ、此度ノ人口調査ノミナラズ、尙ホ十分ナル調査ヲシタイト云フコトモ、委員ノ諸君ヨリ御質問サレマシテ、之ニ付テハ政府當局ヨリモ、ソレハ後來ニ於テハ、十分ナル計畫ヲ立テルヤウニシヤウト云フヤウナ答辯モアツタデアリマス、ソレデハ此調査ニ付キマシテ、本年一月十三日ノ閣令第一號ヲ以テ、軍需動員ニ關スル工場及事業場ヲ臨時調査ノ件ヲ發布サレタコトデアリマス、是等ヲ同ジ一ツノ政府ノ下ニ調査ヲスルニ、陸軍省ハ陸軍省デスル、或ハ農商務省ハ農商務省デスルト云フノハ甚ダ都合デアアル、軍需ニ關係シタモノデモ、矢張亞米利加ノ如ク、皆ナリ此統計局デ調べタ方ガ宜クハアルマイカト云フヤウナ質問モアリマシタ、然ルニ是ハ未ダ國勢調査ノ事實モ舉ラヌコトデアアルカラ、當分已ムヲ得ズサウ云フ風ニシテアルト云フヤウナ意味モ答辯サレタ事デアリマス、之ニ付キマシテ、人口ノ調査ノ方法デ、常住ノ人口或ハ定住ノ人口、之ヲ一ツニ調べナケレバナラヌト云フヤウナ御説モ出タノデアリマス、此法案ニ依リマスト云フト、大正九年十月一日午前零時ニ居ッテ所ノ現在ノ數ヲ以テ、日本帝國ノ人口ト定メル所ノ法ノ如クナツテ居ルノデアリマス、然ルニ委員ノ中ニハ、ソレノミデハ甚ダ不完全デアアルカラ、定住ト云フ必ズ其土地ニ住ンデ居ル者モ調べナケレバ、或ハ選舉或ハ其他ノ爲メニ、不都合デアアルマイカト云フヤウナ御質問モアリマシタ、是モ政府ニ於テ大ニ考ヘル一ツノ材料トシヤウト云フヤウナ事ニナツテ、其參考ニナツタデアリマス、其他此國勢調査員ハドノ位アルカト云

ヘバ、三十萬人モ出來ル譯デアリマス、之ヲ各市町村ニ割振ッテ見マスト、先ヅ一村ニ二三、四人出來ル譯ニナツテ居ルノデアアル、而シテ此職ト云フモノハ、外國ナドデハ非常ナ名譽ノ職トシテアル、故ニ別段俸給ハ出サナイ、即チ名譽職ト云フヤウナ譯デアラ、單ニ此辦當料ヲ渡スト云フ位ナ事ニナツテ居ルノデアリマス、併シ其辭令ハ普通ノ縣知事或ハ郡役所杯デナク、内閣ヨリ直接ニ其辭令ガ參ルコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレノミナラズ此命ヲ受ケル者ハ、徽章ヲ内閣ヨリ渡ス、即チ其徽章ハ純銀デ以テ、誠ニ鄭重ナル徽章ヲ與ヘルコトニナツテ居ルサウデアリマス、斯ノ如キ理由ヲ以テマシテ十分ナル調査ヲ遂ゲテ、本案ハ原案賛成トシテ、尙ホ委員會ニ於キマシテハ、此度ハ第一回ノ國勢調査デアルカラ是ア宜シイガ、後來ハ尙ホ一層殖産興業或ハ其他ノ事ニ付テモ、十分ナル調査ヲスルヤウニシタイト云フ希望ヲ以テ、原案ニ賛成シタノデアリマス、ドウカ御賛成アラシコトヲ望ミマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ讀會ヲ省略シテ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス。日程第六大正五年法律第四號中改正法律案 第一讀會ノ續ヲ開キマス。委員長粕谷義三君

第六 大正五年法律第四號中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)(確定議)

(粕谷義三君登壇)

(拍手起ル)

○粕谷義三君 簡單ニ御報告ヲ申上ゲマス、此大正五年法律第四號ハ、既ニ御承知ノ如ク、大正三年ノ臨時事件ニ關シマス、其經費ノ財源ニ充テルコトニ關スル法律デアリマス、現行法ニ依リマスト云フト、此財源ニ充ツル爲メニ、公債又ハ借入ヲ爲シ得ル所ノ程度ガ、八千八百萬圓ト限定サレテアルノデアリマス、併ナガラ時局ハマダ終局ニ至リマセヌデ、尙ホ多額ノ支出ヲ要スル次第デアリマシタ、之ガ爲メニ更ニ二億數千萬圓ヲ増加シテ、八千八百萬圓ノ制限ヲ、更ニ三億二千萬圓マデニ増額シタイト云フ改正法案デアリマス、既ニ先頃當議場ヲ通過シマシタ追加豫算ニ於テモ、五千萬圓ノ公債募集ノ事ガ含マレテ居リマス、尙ホ今豫算委員會ニ付セラレテアリマス、所ノ幾多ノ追加

豫算ニ於テモ、二億内外ノ公債募集金ヲ財源トスル所ノ計畫ニテ居ルノデアリマシテ、此増額ハ洵ニ已ムヲ得ザルモノナリト認メマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ本案ハ議會ノ順序ヲ省略シテ、可決確定シタルコトヲ宣告致シマス——日程第七會計士法案——提出者近藤達兒君

第七 會計士法案 近藤達兒君外一名提出

第一讀會

會計士法案

會計士法

第一章 會計士ノ業務

第一條 會計士ハ當事者若ハ利害關係人ノ囑託ヲ受ケ又ハ官廳ノ命ニ依リ會計ニ關スル事項ノ監査、整理、管理、證明、鑑定及和解等ノ業務ヲ執行スルモノトス

第二章 會計士ノ資格

第二條 會計士タラントスル者ハ左ニ掲クル資格ヲ具備スルコトヲ要ス

一 帝國臣民ニシテ三十歳以上ノ男子タルコト

二 會計士試験ニ合格シタルコト

三 三箇年以上會計士ノ事務所ニ在リテ其ノ業務ヲ見習ヒタルコト

四 高等官、貴族院議員、衆議院議員及學識経験アル者ノ中ヨリ任命セラレタル委員ヲ以テ組織セル會計士銓衡委員會ノ銓衡ヲ經タルコト

第三條 會計士試験及銓衡ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 左ニ掲クル者ハ會計士タルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 懲戒ノ處分ニ依リ免官、免職、除名又ハ業務ヲ禁止セラレタル者

三 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタル者

四 禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタル者

第五條 會計士ハ報酬アル公務ヲ兼スルコトヲ得ス但シ貴族院議員、衆議院議員ト爲リ又ハ官廳ヨリ特ニ命セラレタル職務ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

會計士ハ他ノ業務ヲ營ミ又ハ會社ノ代表者若ハ會社其ノ他ノ使用人ト爲ルコトヲ得ス但シ農商務大臣ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第三章 會計士名簿

第六條 會計士名簿ニ登錄セラレタル者ニ非サレハ會計士ノ稱號ヲ用キ又ハ其ノ業務ヲ執行スルコトヲ得ス

第七條 會計士名簿並登錄ニ關スル規定ハ農商務大臣之ヲ定ム

第四章 會計士ノ權利義務

第八條 會計士ハ正當ノ事由アルニ非サレハ當事者若ハ利害關係人ノ囑託又ハ官廳ノ命ヲ拒ムコトヲ得ス

第九條 會計士ハ利害ノ關係ヲ有スル事業ニ關シ其ノ業務ヲ執行スルコトヲ得ス

第十條 會計士其ノ業務ノ執行ニ關シ故意又ハ過失ニ因リ囑託人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ之ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第十一條 會計士ノ業務ノ執行ニ關シテハ刑法中公務員ニ關スル規定ヲ準用ス

第十二條 會計士ハ囑託人ヨリ報酬及旅費ヲ受ケ

第五章 會計士協會

第十三條 會計士協會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ規約ヲ定メ農商務大臣ノ認可ヲ受ケヘシ其ノ規約ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第十四條 會計士協會ヲ解散シタルトキハ之ヲ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第六章 懲戒

第十五條 會計士業務上ノ義務ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ行為アリタルトキハ懲戒ニ付ス

第十六條 懲戒ハ左ノ四種トス

一 譴責

二 千圓以下ノ過料

三 三年以下ノ業務停止

四 除名

第十七條 懲戒ハ會計士銓衡委員會之ヲ行フ但シ會計士協會ニ屬スル者ニ付テハ其ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

左ニ掲クル者ニシテ本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ會計士名簿ニ登錄ヲ請フトキハ第二條第二號及第三號ノ規定ニ拘ラス會計士タルコトヲ得

一 本法公布ノ日ヨリ一箇年以前ニ事務所ヲ設ケ

第一條ノ業務ヲ執行シタル者

二 五箇年以上引續キ會計ニ關スル事務ヲ主宰シタル者ニシテ商業會議所又ハ銀行業ヲ營ム者ヲ以テ組織セル團體ヨリ推薦セラレタル者

〔近藤達兒君登壇〕

〔拍手起ル〕

○近藤達兒君 本案ハ幾ニ本院ニ於キマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致サレタデアリマス、此度再ビ茲ニ提出ヲ致シマシタガ、本案ハ會計ニ學歴經驗ノアル所ノ者ヲ公認致シマシテ、會計検査ノ任務ニ當ラセラルコトヲ以テ目的ト致ス法律案デアリマス、御承知ノ如ク近時我國ノ經濟狀態ハ著シク發達ヲ致シマシテ、會計事務ハ益々煩瑣ニ赴イテ參デ居ルノデアリマス、此時ニ當リマシテハ此法律案ノ如キモノハ、最も緊要ナル案ノ一ツデアラウト考ヘマシテ、茲ニ提出致シタ次第デアリマスカラ、何卒滿場一致ヲ以テ御可決アラント希望致シマス(拍手起ル)

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ、議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ——日程第八、朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——牧山耕藏君

第八 朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案(牧山耕藏君外五名提出)

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案

主旨ヲ達成セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔牧山耕藏君登壇〕

〔拍手起ル〕

○牧山耕藏君 本員ハ朝鮮平元鐵道急設ニ關スル建議案ノ提出者ト致シマシテ、簡單ニ提出ノ理由ヲ申述ベタイト思ヒマス、平元鐵道ト申シマスレバ、諸君御承知ノ如ク、西部朝鮮ニ於ケル一大商工業地トシテ、近時非常ナル進歩發達ヲ遂ゲマシタル、彼ノ平壤ト東海岸ニ於ケル要港デアル元山トヲ連絡致シマシテ、日本海橫斷航路ヲ介シテ、日本内地朝鮮滿洲ノ間ニ一大幹線ヲ設ケントスルノデアリマス、日本ト滿洲トノ間ニ於キマシテ、最も短距離ノ通路ヲ設ケマスルコトハ、我が大陸經營ノ根本義デアリマシテ、實ニ刻下ノ急務ナリト信ズルデアリマス、國防上ヨリ見タル平元鐵道ノ價值ハ姑ク措キマシテ、平元線ノ經濟的價值ノ絶大ナルコトハ、到底一朝一夕ニ述ビテモ、其物資ノ豐富ナルコトハ、非常デアリマシテ、此沿線ニ於キマシテハ、森林アリ、無盡藏ノ石炭ヲ藏シテ居ルデアリマシテ、其他幾多ノ特產物ガ此鐵道ニ依リテ開發サレルデアリマス、又内地朝鮮滿洲ヲ連繫致シマスル最捷路トシテノ平元鐵道ノ使命ニ至リマシテハ、更ニ大ナルモノガアルト信ズルデアリマス、日本内地ノ方面カラ見マスレバ、滿蒙ニ於ケル貿易ノ霸權ヲ握リテ居リマスノハ、本員ガ更メテ申スマデモナク、諸君御承知ノ如ク、大阪及神戸方面デニ亞ギマシテ名古屋方面デアリマス、又北陸各地、東北、北海道等ヨリ致シマシテ、其商取引ガ輸送徑路ノ最も短イ平元鐵道ニ依リマシテ、商取引ノ敏活ト圓滑トヲ期セント致シマスルコトハ見觀キ道理デアリマス、又之ヲ滿洲ノ方面カラ觀察致シマスレバ、近時滿洲開發ノ進捗ト共ニ、多大ナル物資ガ彼ノ方面ヨリ吐出サレルデアリマスガ、此巨大ナル物資ハ、唯、單ニ大連港ニ依ル南滿鐵道ト、釜山港ニ依ル朝鮮縱貫鐵道ノミヲ以テ致シマシテハ、到底完全ナル輸送ヲ爲スコトガ出來スノデアリマス、第四十議會ニ於キマシテ帝國議會ノ協賛ヲ經、國庫補助ノ下ニ朝鮮郵船會社ガ日本海橫斷航路ヲ開始シタノハ、諸君御承知ノ通りデアリマス、然ルニ朝鮮鐵道及南滿鐵道ノ輸送力ガ不完全ナルガ爲メニ、態々京城ヲ迂迴致シマシテ、滿鮮ノ物資ガ元山ヲ經由シテ、日本海橫斷航路ニ依リテ捌カレテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、此一點ヲ見マシテモ、大陸ニ於ケル交通機關ガ甚ダ不完全デアルト云フコトガ分ルデアリマス、即チ平元鐵道ノ貫通ニ依リマシテ、内地中部及ヒ滿洲間ノ交通距離ト云フモノガ、非常ニ短縮セラレマシテ、同時ニ内地

地及朝鮮滿洲間ノ交通上、平壤以南ニ於ケルトコロノ鐵道ハ、即チ今日ノ朝鮮縱貫鐵道ハ單線デアリマスガ故ニ、平壤元山間ノ鐵道ガ敷設サレ、裏日本トノ交通ガ開ケマスレバ、所謂平壤以南ノ線路ニ對シテ、複線ノ作用ヲ爲スノデアリマス、單ニ是ノミデハナク、平壤ヨリ平南鐵道ニ依リテ、西部朝鮮ニ於ケル唯一ノ良港デアリ鎮南浦ヲ介シマシテ、支那山東方面ニ聯絡ヲ保チ、又元山ヨリ浦鹽方面ニ達シ、更ニ元山ヨリ目下敷設中ノ咸鏡鐵道ニ依リテ、露支國境ニモ通ズルデアリマス、之ヲ要スルニ、戰後帝國ニ於ケル意義ヲ有スルデアリマス、之ヲ要スルニ、戰後帝國ニ於ケル幾多ノ經濟的施設中、最も重要ナルモノ、一ツハ、日本海ノ利用並ニ平元鐵道ノ活用デアリマス、而シテ元山ノ築港工事ハ、今大正八年度ニ於テ完成致スノデアリマス、此機會ニ於テ平元線ノ急設ヲ見マスルコトハ、實ニ絶好ノ機會ナリト信ズルデアリマス、本院ニ提出セラレマスル幾多ノ鐵道敷設ニ關スル建議案ハ、何レモ重要ナルモノデアアルコトハ申スマデモナイデアリマスガ、特ニ本案ハ幾ニ新タニ帝國ノ領域ニ加ヘラレマシタル朝鮮ノ開發、並ニ東亞ノ經濟交通上ニ於テ、緊急且ツ必要ナル鐵道ナリト思惟致シマスルガ故ニ、何卒諸君ニ於カセラレマシテハ、滿腔ノ同情ヲ表セラレテ、本案ニ御賛成アラフコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、尙ホ詳細ナル點ハ、幸ニ本案ガ特別委員ニ付託審議セラレ、光榮ヲ得マスレバ、其席上ニ於テ詳密ニ陳述致シタイト思フデアリマス

〔拍手起ル〕

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ決シマシタリ——葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、高田コウウン君

〔笑聲起リ、遠ヒマスト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 高田君

第九 葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案

建議案(高田君外一名提出)

葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案

葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案

政府ハ葉煙草耕作組合ニ相當ノ交付金ヲ下付セラレム

コトヲ望ム
右建議ス

〔高田君登壇〕

〔拍手起ル〕

○高田君 本問題ハ昨年私ヨリ提案致シマシテ、數回委員會ヲ開キマシテ、各種ノ質問等モ爲シマシタノデアリマス、然ルニ遺憾ナガラ最後ノ委員會ノ日ニ於キマシテ、委員長松浦君其他多數ノ御缺席ガゴザイマシテ、審議ヲ了ラズベテ其儘ニ終ラタリ、議會デアリマス、詰マリ表面カラ言ヘバ、會期切迫ト云フ理由ヲ以テ未ニ終ラタリデアリマス、併ナガラ本問題提出ノ理由ハ、尙ホ一層急要ヲ告ゲマシタノデ、其大體ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、昨年申シタ同様に事ハ諄々シイカラ申上ゲマセヌ、殊ニ又後ノ日程トシテ、小林源藏君外十三名ヨリ、殆ド是ト同一ノ意味ノ御提案ガゴザイマス、存シマスカラハ、略シマス、御承知ノ通り煙草專賣ニ依ル我國ノ收入ハ、略シ七千万圓デアリマス、我國ニ於ケル重要ナル財源ト信シマス、而シテ其收入ノ基礎ハ耕作スル二十二万ノ人、及三万一千町歩餘ノ畑デゴザイマス、此耕作組合ナルモノガ如何ナル事ヲスルカト云ヘバ、申上ゲルマデモナク其細目ハ多クゴザイマス、ケレドモ、煙草耕作ノ改良發達、法令違反ノ豫防ヲ圖リ、併セテ耕作及納付上ノ便宜ヲ圖ルヲ以テ目的トシテゴザイマス、故ニ政府モ業ニ既ニ十數年前ヨリ是ガ必要ヲ認メマシテ、其準則ヲ定メテ全國各組合ヲシテ之ニ據ラシメテ居ル次第デゴザイマス、全ク今日ニ至リテハ煙草專賣業上、一日モ必要缺タベカラザル機關トナッテ居ル次第デゴザイマス、以上ノ如ク最も必要ナル所ノ機關ナルニ拘ラス、其政府ノ殆ド全部——其費用ノ全部ハ耕作人ノ負擔デアリマシテ、政府ヨリ一錢一厘ノ補助モ無シ、交付金モ無イデアリマス、是ハ甚ダイカヌ次第デアリマス、是非トモ組合トシテ活動スルニ必要ナル經費タケハ、此組合ニ向テ交付スルコトガ適當ノ處置デアルト云フコトヲ簡單ニ申上ゲテ置キマス、是ガ大體ノ理由デゴザイマス、附加ヘテ此際申上ゲル理由ハ、昨年此委員會ニ於キマシテ、專賣局當局者ト再々質問モシ、尙ホ此問題ニ付キマシテ、非公式ニ專賣局ノ當事者ト吾ニガ數回話シテ致シマシタ、其話シテ致シマシタ間ニ於ケル專賣局ノ當局者ノ意ヲ綜合致シマスレバ、二ツノ反對ラシイ理由ヲ持ッテ居ルデアリマス、ソレハ第一ハ耕作組合ハ、耕作人ノ便宜ヲ主トスルモノデアラガ故ニ、其費用ハ耕作人ガ當然負擔スベキモノデアルト云フコトヲ主張シテ居ル、第二ハ現在ノ組合ハ甚ダ不完全デアラガ故ニ、故ニ完全ナル組合ノ出來ルマデ交付金ヲ下付スルコトハ非ナリ、斯ウ云

フ事モ申シテ居ルヤウデアリマス、併ナガラハ專賣局當事者ノ表面ノ理由デゴザイマシテ、其内實ニ至リマシテハ、專賣局ノ當事者ト話シテマシマス、其冥々ノ裡ニ於テハ、尙ホ各地ニ於ケル專賣局ノ官吏ト吾ニガ話シテマシマス、尙ホマシテハ、彼等ハ皆ナ一齊ニ交付金下付ノ必要ナルコトヲ要求シテ居ルノデゴザイマス、私ハ此第一第二ノ二點ニ付テ私ノ意見ヲ申上デテ置カウト思フ、第一ノ耕作人ノ便宜ヲ主トシタルモノナルガ故ニ、交付金下付ノ必要ナシト云フコトニ付テハ、是ハ委シク申上ゲルマデモナク、大正七年十二月二十七日政府ノ豫算超過ノ支出トシテ、煙草耕作補助金トシテ金三十九萬圓ヲ、責任支出ヲ以テ昨年十二月ニ支出シタコトデゴザイマス、此事ハ明ニ耕作組合ガ政府ノ機關デアリト云フコトヲ、自然ニ認メルト云フ結果ヲ來シタノデゴザイマス、第一ノ反對ノ理由ハ自然ニ消滅スルコト、存ジマス、第二ノ理由由即チ耕作組合ガ不完全ナルガ故ニ、其完全ナルヲ待テ交付金ヲ交付スベシトノ議論ハ、私甚ダ感服スルコトガ出來マセヌ、私共ノ考デハ、成程全部ノ耕作組合ガ完全シテ居ルトハ申シマセヌ、併ナガラ其不完全ナル理由ハ、其要スル經費ガ耕作人ノ負擔デアデ、中ニ其金ヲ集ムルノ困難ナルガ故ニ、即チ組合トシテ活動スベキ經費ガ不足ナルガ故ニ、完全ナル組合トナルコトガ出來ナイノデゴザイマス、故ニ若シ政府ガ之ニ向テ必要ナル經費ヲ出シマシタラバ、立ロニ完全ナル組合ガ出來マシテ、一方政府ノ豫期スル通りノ政府ノ補助機關トシテノ働ヲ達スルト同時ニ、他方ニ於テ確ニ專賣局吏員ノ、或一部ヲ減ラスコトガ出來ヤウト私ハ信ズルノデゴザイマス、斯様ノ理由ガゴザイマスカラシテ、組合ノ不完全ナルガ故ニ、交付金ヲ支出スベカラスト云フ議論ハ、自然ニ消滅スルコト、存ジマス、サウ致シマシレバ、詰マリ他ノ交付金ノ問題、即チ小林君ガ御提出ニナリマシタ所ノ織物組合ニ交付金ヲ下付スルト云フ問題、或ハ之ニ類似スル所ノ他ノ問題トノ均衡問題ガ政府部内ニアルカモ知リマセヌ、併ナガラ織物組合ニ對シテ補助金ヲ出シマシタコトハ、第四十議會ニ於キマシテ、政府ガ之ヲ提案致シマシタ位デゴザイマス、但シ他ノ案ト共ニ是ハ否決サレマシタケレドモ、免モ角モ其時ノ政府ノ意思ハ、織物組合ニ向テ交付金ヲ出スト云フコトハ發案サレテアッタノデゴザイマス、ソレノミナラズ今回小林君外十三名ヨリ、所謂多數黨ノ諸君ヨリ建議案ガ提出サル、次第デゴザイマスカラシテ、確ニ民意ヲ容ル、ニ咨ナラズト稱スル所ノ現内閣ガ、此織物稅——織物組合ニ向テ相當ノ金ヲ出スコトニナルグラウト思ヒマス、サウスレバ織物組合トノ均衡問題ハ是デ破レマス、殘ル所ハ他ノ些々タル交付金問題デアル、併ナガラ他ノ些々タル交付金問題ハ

第二ト致シマシテモ、免モ角モ先程申シマシタ通り、煙草專賣事業ハ、我經常歲入八億四千圓ノ十二分ノ一ヲ占ムル七千萬圓ニ近イ歲入ノアル所ノ大問題デゴザイマスカラシテ、他ノ些々タル問題トノ均衡ハ第二ニ致シマシテ、私ハ此事ノ實行ヲ切ニ希望スル次第デゴザイマス、サウ致シマシレバ殘ル所ノ問題ハ、金ノ問題、財源ヲ如何ニスベキカト云フ問題ニ歸著シヤウト存ジマス、私ガ考ヘマス所ニ依レバ、現狀ヨリスレバ一段歩ニ付一圓ヲ支出スレバ十分思フ、サウスレバ大正八年度ノ豫定段別ガ略、三萬一千町步デゴザイマスカラ、三十三萬圓ノ金ヲ出セ十分ニナル次第デゴザイマス、所ガデス、此專賣事業ナルモノハ、御承知ノ通り其專賣事業ノ歳出ガ殆ド一億二千餘萬圓ノ金ニナテ居ル、一億二千萬圓ノ金ノ中デ是程必要ガアルスレバ、私共ハ豫算ノ立テヤウニ依テハ、何トカ三十一萬圓位ノ金ノ出シヤウガ確ニ出來ヤウト思ヒマス、若シ又到底特別會計ノ中デ、今日ノ儘デハ三十一萬圓ノ金ヲ出スコトガ出來ナイトスレバ、上等社會ノ人ノ喫用スル煙草、即チ上等ノ煙草ニ向テ、或ル程度ノ値上ヲナシ、其金ヲ以テ此交付金ニ充テルト云フコトニ致シマシタナラバ、事至テ簡單デゴザイマシテ、容易ニ出來得ルコト、信ズルノデゴザイマス、是ガ財源ニ付テノ私ノ考デゴザイマス、尙ホ一寸誤解ノ無キ爲メニ申上デテ置キマス、先程申上ゲマシタ所ノ豫算超過支出ノ問題デゴザイマス、是ハ大正七年十二月二十七日ヲ以テ、數多ノ豫算超過支出ノ上デ、專賣局事業費トシテ一千六百八十八萬八千九百九十五圓ノ豫算超過ノ支出ヲ爲シ、其内ノ三十九萬圓ヲ葉煙草耕作組合補助費トシテ支出シタノデアリマス、是ハ雜費ノ中ヨリ出シタノデゴザイマス、即チ見込段別三萬一千町步ニ對シ、前年度マデノ耕作ニ付キマシテハ、一段歩ニ付キ一圓、大正八年度新シク耕作スベキモノニ向テハ、一段歩ニ付キ二圓ト云フ割合ヲ以テ支出シタノデゴザイマス、此支出ノ前年度ノモノニハ一段歩ニ付一圓、新シキモノニハ一段歩ニ付二圓ト云フヤウナコトハ、何等ノ根據カラ出タカハ知レマセヌケレドモ、免モ角モサウ云フコトデゴザイマス、是ハ政府ガ何ノ爲メニ斯様ナ手段ヲ執ツカト云ヘバ、政府ガ葉煙草賠償金ノ値上ノ時機ヲ失シマシタガ爲メニ、大正七年度ニ於キマシテハ、三萬町步ノ豫定ニ對シテ、殆ド二萬四千町步位ノ實際ノ耕作段別以上得ラレナカッタ結果、若シ大正八年度ニ於キマシテモ、耕作段別ガ不足シタ場合ニハ、煙草ニ危險ヲ來スト云フ虞ガ明ニ見エマシタ爲メニ、政府ハ周章狼狽ノ結果、斯ノ如キ責任支出ヲナシタモノト私ハ信ジマス、併シ是モ急場ノ場合ノ事デゴザイマシテ、或ハ已ムヲ得ヌデゴザイマセウケレドモ、是ハ遺憾ナガラ一年限リデゴザイマス、私ノ希望ハ否

建議ハ、之ヲ一年限リトセズシテ、永久ノモノト致シマシテ、專賣局ノ經常費ヲ以テ年々之ヲ支出セラレンコトヲ希望スルノデゴザイマス、御承知ノ通り政府ガ前内閣ノ物價ノ騰貴ニ伴ヒマシテ、直チニ煙草賠償金ノ値上及鹽賠償金ノ値上等ヲ實行スベキニ拘ラズ、甚ダ先眞暗ナル政策ノ爲メニ、煙草耕作ノ賠償金ノ値上ヲ怠リ、或ハ鹽ノ賠償金ノ値上ヲ怠ツガ爲メニ、到處鹽及煙草ノ不足ヲ生ジテ居リマス、東京ハ知リマセヌガ、地方ニ參テ見ルト、味噌醬油ヲ造ル爲メニ鹽ガゴザイマセヌ(簡單々々ト呼フ者アリ)尙ホ煙草モゴザイマセヌ、吾々ノ地方ナドハ行クト、今日卷煙草ハ少シモゴザイマセヌ、斯ウ云フヤウナ現狀ヲ呈シテ居ルコトハ甚ダ遺憾デゴザイマス、ドウゾ現内閣ノ諸公ハ、前内閣ノ是等ノ先眞暗ナル所ノ政策ニ鑑ミマシテ、何トカシテ鹽煙草位ハ十分ニ人民ニ供給スルコトニ御願致シタイノデゴザイマス、而シテ此煙草耕作組合ニ交付金ヲ下付スルト云フコトハ、此鹽及煙草等ヲ十分ニ人民ニ澤山供給スル爲メノ、一種ノ政策トナル次第ニ存ジマス、此問題ハ明ニ政府ガ考慮中ニ置カレタ問題デアリマス、確ニ考慮シテ居ルト云フコトハ、一三年來明カナル次第デゴザイマス、私共、内閣ナルモノハ國家諸般ノ問題ニ付キマシテ、常ニ考慮ヲ深クスルモノト信ジテ居リマス、私共ノ要求スルノハ、其考慮デアリマセヌ、其實行デゴザイマス、ドウゾ諸君ニ於ケレマシテモ、考慮デナク實行ヲ求メルト云フ意味ニ於テ、本案ニ賛成アラント切ニ希望スル次第デアリマス

○岩崎勳君 議長

○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、特二十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ、本案ハ十八名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ——日程第十北朝鮮裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス

第十 北朝鮮、裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案(上基安太郎君外九名提出)

北朝鮮、裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案

北朝鮮、裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案

政府ハ裏日本聯絡航路延長ニ關スル建議案

清津(元山)敦賀間ノ航路ヲ開始シタルニ日ニ盛況ヲ呈シ前途益有望トナレリ依テ此ノ際更ニ進ムテ裏日本ノ

中樞タル伏木及七尾迄該航路ヲ延長セムコトヲ望ム
右建議ス

○議長(大岡育造君) 上埜安太郎君——高見之通君

〔高見之通君登壇〕

〔拍手起ル〕

○高見之通君 諸君、本案ハ昨年第四十議會ニ於キマシテ、同ジク建議案トシテ議題ニ上リマシタガ、委員會ニ於キマシテ質疑應答ノ中、會期切迫ノ故ヲ以テマシテ、不幸流會ニナリタリデアリマス、吾々之ヲ以テ洵ニ遺憾トシテ居リマス、本年再ビ此建議案ヲ提出スルコトニナリマシタ、本案ハ朝鮮ノ清津、元山ト敦賀ト云フ此三角航路ガ、現在北緯航路トシテ開始サレテ居リマスガ、此線ヲ石川縣ノ七尾ト富山縣ノ伏木マデ延長スルコトノ希望ノ建議案ノ性質デアリマス、而シテ此建議案ノ趣意ヲ説明スルニ付キマシテハ、現在ノ此實施サレテ居ル、北緯航路ノ價值如何ト云フコトヲ所究スルノ必要ガアラウト思ヒマス、此航路ハ昨年ノ四月カラ開始サレタノデゴザイマスガ、航路ヲ起スノ始リハ、元山ノ發達、即チ京元鐵道ガ敷設サレテ、元山ガ非常ニ發達シタト云フコトノ理由ト、清津會寧間ノ鐵道ガ出來マシテ、清津港ノ發達ヲ喚起シタト云フコトノ關係上カラシマシテ、朝鮮總督府ハ朝鮮郵船會社ニ年額二十有餘萬ノ補助費ヲ給シマシテ、年三十有回ノ定期航路ヲ開クコトニナリタリデアリマス、其航路ヲ開始サレテ時ニ於キマシテ、朝鮮總督ノ當局者ニ於キマシテモ、此航路ハ果シテ直チニ成績ヲ擧ゲ得ルコトガ出來ルカ否ヤト云フコトヲ、實ハ幾分ノ杞憂ヲ持ッテ居ラレタヤウデアリマス、此事ハ昨年ノ此委員會ニ於テ、朝鮮總督ノ當局者モ左様ニ杞憂ヲ懷イテ居ラレタコトハ明カデアリマス、然ルニ成績ハ意外ニ好クナリタリデアリマス、大正七年——昨年ノ四月頃開始サレテカラ上半期ノ成績ヲ申シマス、會社ノ收入ハ十一萬三千圓、支出ハ十五萬圓デアリマスガ、補助金十三萬圓ヲ之ニ充當致シマス、差引八萬圓ノ利益ヲ擧グルニ至リタリデアリマス、サウシテ貨物ハ非常ニ澤山殖エリノミナラズ、乘客ノ如キモ、此線路ヲ取ルモノガ漸次増加シマシテ、日ニ益々盛況ヲ呈スル狀態ニ至リタリデアリマス、去リナガラ此線路ノ當初開始サレタル主タル目的ハ、此北陸地方ヲ專ラトシタリデアリマセズシテ、京阪名古屋方面ノ貨物ガ、門司ヲ經テ釜山ヲ通テ京城ニ出ル所ノ線ヲ短縮スルノ意味ニ於テ、寧ろ京阪及中京ノ貨物ヲ專ラシテ居リタリデアリマス、是ニ於テ若シ北陸方面ニ於ケル諸般ノ物資ガ、此線路ヲ十分ニ利用スルノ機會ヲ與ヘタラバ、トレ程ノ發展ヲスルト云フコトガ茲ニ分クナラバ、多クノ言フ費サズシテ吾々ガ提出シタル建議案ハ、トレ程ノ理由ガアルト云フコトハ明瞭

ト信ジマス、北陸方面ノ中心トシテ、石川縣及富山縣ノ此ノ縣外ニ對スル所ノ價值如何ト申シマスレバ、特ニ諸君ノ御記憶ヲ喚起シテ申上ゲタイ思ヒマス事ハ、北海道ノ方面ナドヘ出テ行ッテ、今日ノ北海道ヲ開拓シタコトノ最も功績ノ大ナルモノハ、石川縣富山縣ノ二縣下ノ人間ガ最も好成績ヲ擧ゲタリデアリマス、特ニ著シキハ、此二縣ノ人間ハ、寒氣ニ耐ヘ、困苦ニ耐ユルト云フ特性ヲ有テ居ルノデアリマス、此者ヲ以テ若シ北緯、殊ニ今日此清津ノ方面カラ會寧、進シテ吉長線ニ於テ漸次北滿ノ方ニ向テ色々ノ事情ガ起ル、此方面ニ向テタナラバ、多大ノ成績ヲ擧ゲルト云フコトノ、確實ナル過去ノ歴史ヲ有テ居ルコトガ第一點デアリマス、其他第一ニ富山縣ノ方面ヲ見マス、諸君方ニ特ニ聽イテ戴キタイノハ、全國ニ殆ド所有ノ水力電氣ノ馬力ハ、約二百有餘萬馬力デアリマスガ、其中ノ百有餘萬馬力ト云フモノ、潛勢力ハ我が富山縣ニ在ルノデアリマス、是等ノ水力電氣ガ漸次實現サレルト共ニ、最も開拓サル、ノハ富山縣ノ伏木港ノ附近デアリマス、此現在出來テ居ル所ノ諸般ノ會社、殊ニ此電力ヲ應用スル文明的ノ會社ガ、非常ニ澤山出來テ居ルノデアリマス、是等ノ物資ガデスナ、若シ北緯ノ航路ニ連絡ヲ得ルコトガ出來タト致シマシタラバ、多大ノ價值ヲ上ゲルノデアリマス、現在デモ伏木ヲ出テ各方面ニ移出スル所ノ金額ハ、年分少クモ千五六百萬圓ハ出デ居ルト云フ狀況デアリマス、又特ニ石川縣七尾港ノ價值ニ就テ申シマス、ト云フ、軍事上ニ於テ全國ヲ幾個カノ區ニ分ケテ見マス、ト云フ、北陸ノ方面ニ於テ將來軍事計畫ヲ爲スト云フ時ニ於テ、石川縣ノ金澤市ヲ中心ニスルト云フコトハ、最も明瞭ナル事デアリマス、今日ノ時勢ハ昔ト違ヒマシテ、此奉天及哈爾濱マデノ何カノ問題ガ起タト致シマシタラバ、此一旦緩急アル秋ニ於テハ、之ニ對シテ直チニ活躍ノ脈絡ノ基礎ヲ爲スベキモノハ、惟フニ將來北陸ノ方面デアラウト思フノデアリマス、若シ夫レ此線路ガ開始サレテ、サウシテ一年ニ數十回ノ往復ガ出來タト致シマシタラバ、七尾ト金澤トノ關係ガ、遠ク北滿トノ間ニ軍事上有力ナル連絡ヲ爲スト云フコトハ、私ガ多クノ言フ費サズシテモ、日本ノ地圖ヲ少シ緋イタ人ハ、直チニ了解ガ出來ルダラウト、私ハ信ズルノデアリマス、軍事上ノ方面カラ觀シテモ、又經濟上ノ方面カラ觀シテモ、石川縣及富山縣ノ是等北滿ニ關係シ、又北緯ノ方面ニ偉大ノ關係ガ有ルト云フコトハ、御了解ニナリタリデ思ヒマスガ、然ラバ、是等ノ問題ヲ解決スルニ、幾許ノ補助金ヲ要スルカ、斯ウ申シマシタナラバ、實ニ微々タルモノデアリマス、現在朝鮮郵船會社ハ、朝鮮ノ各方面ノ近海ノ航路ヲ引受ケテ居ルノデアリマシテ、年額ノ補助金額ハ約八十萬圓程取ッテ居ルノデアリ

マス、而シテ此清津ヨリ元山、元山ヨリ敦賀、此間ノ運費ハ總計合セテ六百七十餘圓デアリマス、而シテ敦賀ヨリ七尾ニ至ル所ノ運費ハ、漸ク百八十圓デアリマス、七尾ト伏木ト目ト鼻トノ間ニ在リマシテ二十六圓、要スルニデスナ、元山ト清津敦賀トノ間ノ運費約七百圓ト云フモノニ對シ、二十有餘萬圓ノ金ヲ費シテ居ルノデアリマス、カラスシテ、其三分ノ一ニモ當ラナイ敦賀ト七尾トノ間ノ運費ハ、漸ク二百圓、之ニ年額七萬圓若クハ八萬圓ノ補助金ヲ與ヘタナラバ、充分ナル成績ヲ擧ゲラウト私ハ信ジテ居リマス、而モ以上申上ゲタウナ多クノ利益、多大ノ成績ヲ擧ゲ得ル理由アルニモ拘ラズ、僅カ七萬圓若クハ八萬圓ノ補助金ヲ與ヘバ、斯ノ如キ事ガ出來ルノ今日マデ之ヲ打捨テ置イタト云フコトハ、殆ド意味ヲ爲サナイト私ハ思フノデアリマス、殊ニ尙ホ申上ゲテ置キタイノハ、此伏木ト北海道トノ間ノ裏日本ノ沿岸ハ、全部伏木ヲ中心トシテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ若シ此航路ヲ開クコトニナリマス、ト云フ、漸ク年額八九萬圓ノ金ヲ投ジテ、此定期航路ヲ開クコト云フコトニ至リマスレバ、此結果ニ依テ、北海道ヨリ秋田縣ヲ經、新潟縣ヲ經テ此富山縣ニ至ル所ノ、長イ間ノ連絡ガ直チニ取レタレト云フ、多大ノ附帶スル利益ガ有ルノデアリマス、以上ノ實行上ニ於キマシテモ、斯ノ如キ僅カノ金ヲウシテ朝鮮郵船會社ノ取ッテ居ル年額ハ、今申上ゲタ八十有餘萬圓ノ補助金ヲ受ケテ居ルノデアリマス、是デケレ僅カノ金、ソレニ假リニ多少ノ損失ガアツタシタ所ガ、會社ノ維持ガ出來ナイト云フ虞ト云フモノハ、ハルベカラザル事デアリマス、況ヤ昨年ノ四月此航路ガ開始——北緯航路ガ開始サル、少シ以前ニ、朝鮮當局者ハ、果シテ是ガ相當ノ利益ヲ擧ゲデアラウカ、ドウカト云フコトヲ杞憂シテ居タニ拘ラズ、一タビ開始スレバ是デケレ利益ガ擧ゲデアラマセヌカ、之ニ僅カ八萬圓若クハ九萬圓ノ金ヲ投ジテ、サウシテ此航路ヲ開始シタト致シマシタナラバ、多大ノ利益ヲ生ズルト云フコトハ、私ハ以上ノ理由ヲ以テ、昭々トシテ火ヲ睹ルヨリ明カナリト信ジマス、元山及清津ニ關スル所ノ價值ハ、奧田君ナリ或ハ牧山君ナリ言ニ依テ、充分ニ證明サレテ居リマスガ、是等ノ發展ハ日ニ益々盛ンデアリマセウ、又今申上ゲタル石川縣及富山縣ノ將來ノ繁榮ハ、今申上ゲタルヤウナ理由ヲ以テ、充分御了承ニナリタリデ思ヒマス、斯ノ如キ理由ノ上ニ立ッテ、僅カノ金ヲ此航路ガ開カレテ、サウシテ多大ノ功績ガ擧ルト云フコトデアリマス以上ハ、直チニ朝鮮總督府ハ之ヲ實行サレテ宜シイモノト私ハ信ジマス、以上ノ理由ヲ以テマシテ、是非此案ニ御一同諸君ハ御賛同下サランコトヲ、幾重ニモ御願致シマス

○岩崎勳君 議長

○議長(大岡育造君) 岩崎君

○岩崎勳君 本案ハ議長指名ヲ以テ、九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡有造君) 御異議ナシト認メマス仍テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタリ一日程第十一支米食獎勵ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、荒川五郎君

第十一 支米食獎勵ニ關スル建議案(荒川五郎君外四名提出)

支米食獎勵ニ關スル建議案

食糧問題ハ國民刻下ノ喫緊要問題ニシテ速ニ之ヲ適當ノ解決ヲ爲シ以テ國民生活ノ安固ヲ圖ラサルヘカラス而シテ今や政府及民間ニ於テモ之カ根本的及應急的ノ兩方面ニ涉リ種々ノ方法講究セラレツ、アリト雖最簡單ニシテ最有效果ニ速ニ實施シテ容易ニ其ノ目的ヲ達シ得ヘキハ支米食ノ普及ニ在リ支米食ハ其ノ搗精ノ減耗ト洶洗ノ流失トニ依リ約一割五分ノ損失ヲ利剩シ得ル而巳ナラス搗精費ヲ省クノ利モ亦尠カラズ且支米ハ營養素ニ富ミ保健衛生上多大ノ效用アルコト白米ニ比シテ分析上實際上既ニ業ニ明白ニシテ人體各部ノ發育ヲ完全ニシ機能ヲ増進スルニ最有效果ナリト認メラル故ニ政府ハ速ニ支米食獎勵普及ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム右建議ス

〔荒川五郎君登壇〕

〔拍手起ル〕

○荒川五郎君 諸君、凡ソ衛生的ノモノハ經濟的デナク、經濟的ノモノハ衛生ニ適セナイノガ普通デ、衛生經濟兩ナガラニスト云フコトハ稀デアリマス、然ルニ此支米食ハ、人體ニ適シテ營養素ニ富ミ、極メテ衛生的デアルガ上ニ、國家ノ經濟ヨリ見テモ、個人ノ經濟ヨリ見テモ、非常ニ利益ガ多イカラ、國民生活上ノ脅威ヲ受ケントシ、刻下喫緊要問題トシテ、食糧問題ガ朝野ニ叫バレル、今日此簡單ニシテ實施シ得ラレ、且ツ最も有効有益ナル支米食ヲ國民一般ニ普及獎勵スルコトハ、極メテ必要大切ナルコト、思フノデアリマス、今之ヲ國家經濟上ノ利益、個人經濟上ノ利益、及ビ保健衛生上ノ利益ノ三段ニ別テ、概略説明致シマス、第一國家經濟上ノ利益ノ主ナルモノハ約三ツ、其一ツ、米ハ春イテ之ヲ精白ニスル、其春減ハモノノ種類乾燥等ニ依リテ違ヒマスガ、少ナクハ三分減、多クハ一割ニ及ブモノガアリマス、之ヲ平均シテ六分減ト致ス、是ニ米ヲ炊グトキニ洗ヒ流シ糖小ヤ米等ヲ加ヘマスレバ、殆ド一割半ニモ及ブノデアリマス、目下全國國民ノ食用五千六百萬石ト致セバ、其割半ハ八百四十萬石ニモ及ブノデアリマス、之ヲ若シ總テ國民ガ支米食ヲ攝ルトセバ、此八百四十萬石ハ浮イテ來ル割合デアリマスカラ、此場合外國米輸入ニ腐心シ心配スル必要モ要ラナイコトナル、國家外米輸入ノ利益デハアリマセカ、其二、米ヲ春クニ費ス勞力動力等ハ、中ニ少クナイ、田尻北雷博士ガ雜誌「武藝」ニ於テ説カレタ所ニ依

リマスト、精白ノ爲メニ四千七百萬圓カラノ勞銀ガ要ルトアリマシタガ、是ハ足春ノ爲メデアラウト思ヒマス、實際ノ調査ハサウマデハ要ラナイ、又日本齒科醫學專門學校ノ中原校長ノ説ニハ、精白費二千五百三十二萬圓要ルト云フコトデアル、免ニ角隨分巨額ニ上リマス、故ニ之ニ精米機械ヤ精白工場等ニ要スル固定資本ヲ合セマスト果シテドレダケニナリマセウカ、之ヲ省クコトヲ得タナラバ、其利益ハ少イナリ、其三、白米ハ搗粉ノ外普通上ゲ粉ト申シマシテ、白イ土ヲ撒布シテ、之ヲ白ク外觀ヲ美シウ致シ、又幾分ハ米ノ容積ヲ増サウニシテ居リマス、此白土「クレイ」ト申スモノハ、目下支那ヤ英米並ニ關東州其他カラモ段々輸入シツ、アルノデ、是ガ支米食ヲ攝レバ其費用ヲ省ク利益モアリマセウ、先ゾ是等ガ主ナル國家經濟上ノ利益デアリマス、第二、個人經濟上ノ利益、其一、支米ハ白米ヨリ廉イコトハ申シモアリマセウ、其二、白米ニハ搗ヤ搗粉上ゲ粉及小米等ヲ含シテ居リマス、是ハ洗ヒ炊ク際ニ大半流シ去リマスカラ、白米一斗ガ正味九升二三合ニナルノデアリマス、支米ニ較ベテソレダケノ損デアル、其三、支米ハ洗ヒ炊ク勞力ヲ省キ、又用水モ節スルコトガ出來ル、其四、支米ハ身體ニ必要ナ營養分ニ富ミマスカラ、日常支米食ヲ攝レバ營養副食物ヲ減ズルコトガ出來ルト云フコトハ、博士大家ノ研究上明カデアリマス、今茲ニ是等ノ事ハ省略致シマス、是等ガ個人ノ利益トシテ主ナルモノデアリマス、第三、保健衛生上ノ利益ヲ概説致セバ、其一、支米ハ脂肪蛋白質纖維素、灰分、磷酸等身體ノ發育ヲ完全ニシ、機能ヲ増進スルニ生理上必要ナ成分ヲ含シテ居ル、然ルニ此衛生上必要ナ部分、即チ米ノ外側ヲ取ツタ白米ヲ常食ストルトキハ、他ノ副食營養物デ其缺損ヲ補ハナケレバ、漸次身體營養ノ調和ヲ失ヒ、身體精神共ニ虛弱トナリ、種々ノ病氣ヲ醸スニ至ルコトヲ證明セラレテ居ル、其二、凡ソ食物ハ營養素ノ外一種ノ成分刺激物ヲ要スルコトガ、近年ニ至リテ確カニ認メラレマシタ、此成分ヲ學者ニ依ツテ名ヲ附ケマステ「レドモ」、先ゾ普通「ウキタミ」ト云フテ通テ居リマス、此「ウキタミ」ハ支米ニハ之ヲ持テ居リマスガ、白米ニハ無イ、人ノ身體ノミナラズ、他ノ動物デモ此「ウキタミ」ヲ缺クトキハ、脚氣トカ其他諸病ヲ誘發スルト云フコトデアリマス、其三、米ヤ麥ヲ精白ニスル爲メニ現今專ラ使用スル搗粉ノ砂ハ、之ヲ炊ク時分ニ十分ニ洗ヘバ害ガ無イヤウニ考ヘラレテ、從來之ガ禁止モセラレズニ來テ居リマス、併シ洗ヘバ洗フ程、一方ニハ必要ナ蛋白質トカ脂肪トカ其他ノ必要ナ成分ヲ溶シ去リ、而モ純粹奇麗ニハ到底洗去ルコトガ出來ナイ、幾分カ淡イ泥トナテ殘リマス、ソレヲ吾々ハ毎日食ヘル、其量ハ眞ニ僅カデアリマシテモ、毎日ノコトデアリマスカラ、ソレガ自然ニ齒ヲ害シ、胃壁ヲ侵シ、腸ヲ傷メ、人ヲシテ病弱ニ陥ラシムル害ガアル、此點ハ米モ麥モ同ジデアリマス、近頃ハ搗粉ノ外「苦汁」ヲ入レテ苦汁搗ヲスルモノモアリマスガ、其害モ勿論少クナクナイ、以上述べタヤウニ種々ノ害ガアリマス、然ラバ諸君、白米食ハドウシテ我國ニ行ハ

レタカト云フニ、我國太古ハ初ノ僦食ヒ居タト云フ説モアリマスガ、併シソレハ文獻ノ微スベキモノガ無イヤウデアリマス、天智天皇ノ時ニ水車ガ行ハレマシタガ、是ハ今日ノ水車ノヤウニ米ヲ春イテ精白ニスルノデハナクテ、初級ヲ取ル爲メデアッタラシイ、其後ズツ下ゲ白米ニ致シテ外觀ヲ美ニスルコトガ始マリマシタ、當時之ヲ姫御膳トカ姫御飯、或ハ姫粥ト唱ヘテ、上流社會ノ極メテ一小部分ニ止ツ、ソレカラ後豐年デ米ガ餘ト云フヤウナコト等デ、之ヲ春イテ上流社會ノ眞似ヲスル者ガ出來マシタ、一部ニハサウ云フヤウナ米食デアリ、徳川時代以前ノ事ヲ書イタモノニ據ルト云フヤウ發見シナイト云フコトデアリマス、凡ソ今カラ二百年前カラ、漸次白米ガ日本ニ行ハレマシタガ、併シソレモ皆ナ足春又水車位デアッタカラ、營養分ヲ含ム所ノ糠モ、半バ以上ハ殘デ居ル、謂バ半搗米以上デアル、隨テ人體ニ相當ノ效ガアタノデアリマスガ、近年多ク精米機械ガ發明セラレ、又砂搗ガ行ハル、ニ至リ、不自然ナル極メデノ精白方法ハ滔々トシテ遍ク都鄙一般ニ行ハレ、是ガ爲メニ古來身體長大ニシテ勇武強健デアタ者ガ、漸次虛弱ニナタノデアル、ソレモ上流富者ハ他ノ副食營養物ヲ以テ、營養分ノ缺損ヲ補ヒマスカラ、經濟上ノ損失ハ別トシテ、身體ニサシタル影響ハアリママイケレドモ、邊僻ノ者、下流社會ノ者ハ米食ガ盛ンニナルト共ニ、漸次營養不足ニ陥リ、自然ニ惡結果ヲ生ズルノ虞ハ明カデアリ、實ニ國家存立ノ上ニ看過スベカラザル重大事デアルト思ヒマス、諸君、全體米ヲ精白ニシテ習慣別ニ何等生理上ノ要求カラ來タノデハナイ、唯外觀ヲ美シクシ、口腹ノ甘食ニ溺ル、結果ガ斯ウナリマシタノデ、白米ノ外皮即チ糠ニ效能ガアルコトハ、糠ト云フ字ハ米局ニ健康ノ康ト云フ字ヲ書イテアリマス、又白米ト云フコトハ、即チ米局ニ白ト云フ字ヲ書ケバ粕ト云フ字デアル、白米ハ恰モ去勢セラレタ人ヤ動物ノ如ク、元氣ノ素質ヲ失フタ米ノ粕ヲ常食シテ居ルノデアリマス、實ニ不經濟不衛生ニシテ、又實ニ無意義、無精神ノ贅澤デアリマス、ガソレヲ吾々ハ唯漫然トシテ無思慮ニ永年ノ惡習慣ニ因ハレテ居ルノデアル、今此處ニ支米ヤ糠ニ關スル色ニナ調査分析等ヲ澤山持ツテ居リマスガ、是ハ煩ヲ省ク爲メニ速記録ニ掲載ヲ願フコトニテ置キマスガ、唯諸君、今マデ多年白米食デアッタモノヲ、急ニ支米食ニ代ヘルノ習慣上六千數イコトノヤウニ考ヘル人モアルノデアリガ、併シ決シテサウデナイ、支米ハ甘味ガアリマス、少シク慣レ、ハ風味香バシクテ、白米以上ニ嗜好セラレルノハ實驗上明カデアリマス、凡ソ習慣ハ嗜好ヲ生ズルモノデ、嗜好ハ習慣ガ產出スルノデアル、何デモ初メカラ嗜好ハ無イノデアル、彼ノ麥酒デモ私ハ初メハ嫌ヒデアッタノデアリマス、然ルニ何時ノ間ニカ好きニナッタ、兵隊ニ出タ者ガ初メハ麥飯ニ一種ノ臭ガアルノガ鼻ニ附イテ困ルガ、少シクスト平氣ナルノデアル、物ヲ改メ習慣ヲ變ヘルニハ、初メハ多少ノ不便ハ忍バナケレバナラナイ、併シ慣レレバ

此事實ノ對照トシテ同會社ノ通勤男女工約一千二百人ノ白米食者ノ脚氣發生數ヲ調査スルニ明治四四年乃至大正元年ニ於テ八三乃至一九四九%ノ發病ヲ見タリ
麥飯給與期ニ平均八・八%ノ發病ハ予カ從來ノ調査ニ係ル米七麥三食者ノ脚氣發生率三三・一%又農商路省工務局調査ニ係ル工場職工ノ脚氣發生率一四・一%ニ對シ價良ノ成績タルヲ失ハス更ニ玄米混食供與ニ至ツテ殆ト根絶ニ近カラシメタリ
茲ノ實驗ニ於テ玄米食後同病ノ發スル時ハ三十九日乃至四十七日ナリ之ヲ予カ前數回ノ報告ト參照スル時ハ一般ニ三十日乃至六十日ナルヘク又玄米混食後同病停止スル時ハ最短十二日ナルヲ知ルニ於テ是個人ト國衆トヲ問ハズ白米食ヲナシテ發病時日ハ割合ニ永ク玄米ヲ用井テ治愈若クハ同病停止スル時日ノ割合ニ短キハ事實ナリ換言スレハ有效成分體中消費ハ緩後ナルトモ之カ補充ハ迅速ナリト言フヘシ(遠山博士調査顯微鏡一一三號)

● 榮養學上ヨリ見たル米ノ經濟

醫學博士 佐伯 矩氏

米ハ大體アル澱粉ノ地ニ蛋白質脂肪、無機質、ビタミン等ノ有用ナ

ル成分ニ由リテ組成セラレ、孰中其蛋白質脂肪、無機質ビタミン等ハ主トシテ、米穀粒ノ表層中ニ含有セラルヲ以テ精白米ヲ常用スル者ニ所謂白米ヲ發シテ分取セザルメヲ精白米ヲ減シ能フ可キタケルモノ貴重ナル栄養成分ノ損失セサラム事ヲ望ムナリ而シテ、之ヲ吾邦ノ通俗ニ於テ觀ルニ、水ヲ加ヘテ先ツコレヲ研磨シ更ニ水ヲ加ヘテコレヲ洗ヒ、斯ノ如キ研磨竝ニ水洗フ數回反覆シテ然ル後米ヲ炊クコトヲ以テ普通ト爲ス、然モコレノ研磨脂ノ處置ヲ行フ事ニ由リテ、米ノ有用ナル諸成分、蛋白質脂肪、無機質ビタミン等ノ損失最著ナシテ注意スル者甚稀ナリ

今試験ノ結果ニ依リ、斯クシテ米穀ヲ炊クタトキハ米成分中特ニ身體組織ヲ構成補修スルニ必要ナル、蛋白質ノ約一割ヲ失フ、即チ之ヲ大ニシレハ、國産米高五千六百萬石中、五百六十万石ニ相當スル蛋白質ヲ脂肪其他ノ有用成分ト共ニ無益ニ下水中ニ投棄シテ怪マサルモノ癡腫トノ關係

米國ボストン大學教授　バックカード博士

日本ノ癡患者ノ割合ハ歐米ニ比シテ殆シク半數テアル、且ツ日本ノ癡患者ハ土產土育ノ人ニ多ク、亞細亞土產土育ノ人、亦見

カシミーヤ、フンク氏
 ヴイタミノールゼハウイタミンニ乏シキ食料ヲ永續的ニ飼食スル
 時ニモミ起ルモノナリ故ニ脚氣病ハ米作地方ニ於テ白米ヲ主食
 トスル處ニ多ク發ス然レトモ必ス白米ニモ限ラズ精白シタル
 小麦粉、西貢米等ヲ常食トシテモ發スルモノナリ、ウイタミノール
 ノ際ニ發スル特異ノ合併症ハ次ノ如クナリ
 一、麻痺及痙攣ヲ伴フ神經變性
 一、右心ノ擴大、呼吸必迫ニテ、ウイタミノールゼハウイタミ
 ンニ乏シキ食料ヲ永續的ニ飼食スル時ニモミ起ルモノナリ故ニ脚氣病ハ米作地方ニ於テ白米ヲ主食トスル處ニ多ク發ス然レトモ必ス白米ニモ限ラズ精白シタル小麦粉、西貢米等ヲ常食トシテモ發スルモノナリ、ウイタミノールノ際ニ發スル特異ノ合併症ハ次ノ如クナリ
 一、麻痺及痙攣ヲ伴フ神經變性
 一、右心ノ擴大、呼吸必迫ニテ、ウイタミ

米ヲ食ハナケレバ罰スルト云フヤウナ工合ニ御ヤリニサタナ
ラバ如何デアラウカト實ハ考ヘマスガ、ソレニ對スル御考ハ
如何デゴザイマシヤウカ、一應承リタウゴザイマス
○荒川五郎君 御答申上デマス、東方派ヘルタ伊東君ノ
左米食ノ御賛成ヲ得テ一段ノ光彩ヲ添ヘル次第デアリマ
ス(伊東知世君「御禮ニハ及ビマセヌ」ト呼フ)左米食ハ決シ
テ食ヘ惡クハナイ、私共ノ家ニ實行シテ居ル所ニ依レバ、僅
カ五ツニナル子供デモ數日慣レテ、其後ニ玄米飯白米飯ト
ニツツ出シテ、ドナラヲ採ルカ擇バシテ見ルニ、モウ慣レテ玄
米ノ方ヲ取リマス(笑聲起ル)是ハ實際デアアルノデアリマス、
ドウシテ其點ハ御安心アテ、伊東君モ伊東君ノ御家庭ヨリ
速ニ御實行アラントアテ、切ニ希望スル次第デアリマス(拍
手スル者アリ)第二ニ玄米獎勵ト云フ事ノミデハ是ガ普及
セラレナイ、徹底スマイ、ソレニ案ガアルカト云フ御質問デア
リマス、如何ニモ御尤デアリマス、私共ノ考デハ、徹底的ニ
左米ノ普及ヲ圖リタイ、ソレニハ一案ガアリマス、ソレハ私
案デハ白米消費稅ト云フモノ、法律ヲ立テタラ宜イと思
フ、白米消費稅ヲ課セテ白米ヲ高クシタラバ、必ズ其價ノ
差ニ依テ玄米食ハ廣ク行ハレテ行クヲ思フクレドモ、
多年白米ニ慣レテ居ル今日ニ於テ、急ニ法律ヲ以テ臨ムト
云フコトハ、餘リ急激ト心得マスカラ、此ニ玄米獎勵ニ依
テ、成ベク汎ク是ガ精神ノ行渡ルヤウニシテ、然後ニ更ニ
第二段ニ於テ法律ヲ以テ厲行スルヤウニ致セバト考ヘテ居
リマス、ドウシザウ云フ場合ニナツタラ、伊東君モ第一ニ御賛
成ヲ御願申シマス(拍手スル者アリ)
○岩崎勳君 本案ハ幾ニ委員付託トナリタル土井權大
君外一名提出、食糧政策及小作農保護ニ關スル建議案
ト同一委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ希望致シマス
○議長(大岡有造君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ
ヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡有造君) 御異議ナシト認メマス、仍テ岩崎
君ノ動議ノ如ク決シマス——日程第十二、織物業組合及
葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案ヲ議題ト
致シマス——小林源藏君

第十二 織物業組合及葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案(小林源藏君外十三名提出)

織物業組合及葉煙草耕作組合ニ交付金下付ニ關スル建議案

政府ハ織物業組合及葉煙草耕作組合ニ相當ノ交付金
ヲ下付スルカ爲本期議會ニ追加豫算ヲ提出セラレムコ
トヲ望ム
右建議ス
〔小林源藏君登壇〕
〔拍手起ル〕

○小林源藏君 諸君、本案ハ屢、議會ノ問題トナリマシタ
ノデ、其必要ナル理由ノ如キハ、諸君既ニ御承知ノ事ト思
ヒマスノデ、極メテ簡明ニ説明スルヲ以テ適切ナリト信ズル
デアリマス、織物業消費稅法ノ手續ガ煩瑣ニシテ、其法律
實行上政府當局者モ織物業者モ困難ヲ致シタ云フコト
ハ、世間周知ノ事實デアリマス、其煩瑣ヲ除カシテ、織物
同業組合ガ其消費稅ノ徵收上ニ干渉ヲ致シマシテ、
或ハ織物同業組合ノ建物ノ内ニ、特別ノ設備ヲ致シテ之
ヲ收稅官吏ガ使用シ、若クハ同業組合ノ事務員ヲシテ、收
稅官吏ノ事務ヲ手傳ハシムル等ニ依テ、煩瑣ナル手續ヲ
省略スルコトニナツタデアリマス、斯ノ如クシテ煩瑣ナル
織物消費稅ナルモノガ、極メテ簡易ナル所ノ稅トナリ、收稅
官吏ガ便宜ヲ得ルト同時ニ、同業組合ノ多額ノ經費ヲ負
擔セシムルコトニナツタデアリマス、ソコデ政府ノ法律實行
ノ爲メニ、織物同業組合ニ多額ノ負擔ヲ爲サシムル以上ニ
ハ、其經費ノ幾分ヲ下付シタルト云フコトハ、當然政府ノ
責務デアリト信ズルノデアリマス、此ニ於テ私ハ此織物同業
組合ニ對シテ、政府ガ相當ノ交付金ヲ下付スルノ必要アリ
ト認ムル所以デアリマス、獨リ吾輩ガ主張スル所ノモノデアリ
マス、又葉煙草耕作組合モ、其事柄コソ違ヘ、實質ニ於キ
マシテ、事情ニ於キマシテ、稍、織物同業組合ト同様ノ仕
事ヲ爲シテ居ルノデアリマス、政府ノ專賣事業トシテ、葉煙
草ヲ收納スル上ニ於テ、其植付段別ノ検査、或ハ數量ノ查
定、其他實際葉煙草ヲ收納スル時ニ當テ、組合ノ手傳ヲ
受ケルコトガ容易ナラヌコトデアリマス、其葉煙草
ヲ收納スルガ爲メニ、政府當然ノ仕事ノ幾分ヲ葉煙草耕
作組合ニ於テ手傳ヲ爲シテ居ルノデアリマス、隨テ其當然
ノ結果トシテ、此組合ニ多額ノ經費ヲ要スルコトニナツ
テ居ル、是ハ政府ニ於テ、織物組合ニ對スル同ジク補償ヲ爲
スノ責務アルモノト私ハ信ズルノデアリマス、先刻同一問題
ニ對シマシテ、高田松平君ガ御説明ナサレタルトキニハ、葉
煙草耕作組合ガ保護獎勵スルノ意味ノ如クニ御説明ニナ
リマシタガ、間接ノ結果トシテハ其意味ヲ貫徹スルコトニナ
ルトハ思ヒマスクレドモ、私ノ今提案シテ居ル所ノモノハ、政
府當然ノ責務ヲ實行セヨト云フノデアリマス、高田君ノ提
案セラレタル建議案ノ理由書ヲ見テ視ヌレバ「政府ハ租
稅ノ取扱ニ關シ市町村ニ交付金ヲ交付スルト同一ノ理由
ヲ以テ葉煙草耕作組合ニ對シ相當ノ交付金ヲ下付スルコ
トヲ要ス」トアリマスガ、御説明ノ上ニ於テハ主トシテ獎勵
保護ノ意味ヲ陳述セラレタル如クニ聽受ケマシタガ、市町
村ニ交付金ヲ與フルノハ獎勵保護ノ意味ヲ有シテ居ルノデ
アリマス、獎勵保護ノ意味ハ、今マデ經費ノ幾分ヲ政府ノ
仕事ノ爲メニ費シテ居タル所ノモノヲ、組合ノ事業ノ爲メニ
費シ得ルコト云フ意味ニ於テ、組合ガ發達スル、或ハ葉煙草
若クハ織物ノ發達ヲ助成シ得ルコト云フ結果ニナルト思フ
デアリマス、此問題ガ解決セラレマシテモ、織物ノ獎勵保護
葉煙草耕作ノ獎勵保護ノ問題ナルモノハ、尙ホ別段ニ殘

テ居ルト云フコトヲ、茲ニ主張シナケレバナラヌノデアリマス、
而シテ此織物組合ニ交付金ヲ下付スベシト云フ問題ノ如
キハ、實ニ數年來ノ問題ニ致シマシテ、一度ハ此衆議院ヲ
通過シテ貴族院ニ行テ倒レ、其後或ハ建議案トナリ、或ハ
法律案トナリ、毎回此議會ニ提出セラレタル所ノ問題デア
リマス、第三十九議會ト思フテ居リマスガ、憲政會ヨリハ建
議案ガ出テ、政友會ヨリハ法律案ガ出テ、委員會ニ於キマ
シテ、次ノ議會ニ於テ各派交渉シテ此問題ヲ解決スベシト
云フ申合ヲシタデアリマスガ、第四十議會ニ於キマシテ、
恰モ政府ガ衆議院各派ノ意ノアル所ヲ考ヘ、又國民ノ意ノ
アル所ヲ酌量シタモノト見エマシテ、法律案トシテ交付金ヲ
下付スルノ案ヲ提出致シマシタクレドモ、其案ナルモノハ不
幸稅制整理案ノ中ニ包含セラレタッタガ爲メニ、其案ニ
依テ成立セシムル能ハズトシテ、遂ニ否決サル、不幸ニ
遭遇シタデアリマス、決シテ議會ガ此問題ヲ否決スルノ
意思ヲ以テ、否決シタデアリナイ、他ノ問題ト絡ミ合ッテ切
離スルコトガ困難デアッタガ爲メニ、已ムヲ得ズ否決シタノデ
アリマス、輿論ノアル所、衆望ノアル所、今日ニ於キマシテ
代ルモノナシト申上デテ宜イト信ズルノデアリマス、煙草耕
作組合ニ交付金ヲ下付スル事モ、亦先刻高田君ノ話サレ
タ如ク、年々ノ問題ニナツテ居ル、或ハ建議案トナリ、或ハ請
願トナリ、常ニ國民ノ要望シテ已マザル所ノ問題デアル、此
ニ於テ政府ガ適當ナル時機ニ於テ交付金ヲ下付セヨナドト
云フニ非ズシテ、私ハ兩組合ニ對シテ相當ナル交付金ヲ下
付スルガ爲メニ、本期議會ニ於キマシテ、追加豫算ヲ提出
セヨト要求スルノデアリマス、金額ノ問題ハ織物業組合ノ側
ニ於キマシテ、總額ノ百分ノ二ヲ要求シテ居リマス、蓋
シ四五十萬圓ノ金ニ上リマセウ、耕作組合ニ於テハ三十萬
圓以上ヲ要求シテ居リマス、此金額ニ付テハ政府ニ對シテ
ニ向テ何程ヲ提出セヨト云フノデアリマセヌガ、相當ノ額
ヲ本期議會ニ於キマシテ、追加豫算トシテ提出セヨト云フ
ノデアリマセヌガ、固ヨリ此金額ノ問題ニ付テハ、財源ノ關係モ
アリマセウカラ、強テ金額ヲ定メテ要求スル譯デアリマセヌ
何卒斯ノ如キ歴史ヲ有シテ居ル所以ノ問題デアリマスカラシ
テ、滿場諸君ノ權威アル御賛成ヲ以テ、政府ニ本案ノ趣旨
ニ基テ、追加豫算ヲ提出セシメタイト思ヒマス、願クハ御
賛成アラムコトヲ望ミマス
〔拍手起ル〕
○岩崎勳君 議長……
○議長(大岡有造君) 岩崎君
○岩崎勳君 本案ハ日程第九葉煙草耕作組合ニ交付
金下付ニ關スル建議案ノ委員ニ併セテ付託アラレンコト
ヲ望ミマス
〔異議ナシ「賛成々々」ト呼フ者アリ〕
○議長(大岡有造君) 動議ニ賛成デアリマス、御異議ガ
無ケレバ岩崎君ノ動議ノ如クニ決シマシタ、今日ハ是ニテ
散會
午後三時二十八分散會